

## 平成 27 年度 第 4 回運営幹事会 議事録

作井技術委員会 事務局

平成 27 年度 第 4 回運営幹事会

開催日時:平成 28 年 1 月 21 日(木)16:00~17:30

開催場所:石油資源開発 12 階 1203 会議室

参加者:武村委員長、戸田、日野、池田、田村、工藤、尾上、古谷、福嶋、佐藤、長縄、前田、片岡  
(13 名)

### 議題 1:報告事項

#### 1) 大水深掘削技術分科会

- 第 21 回会合について報告(詳細は、大水深掘削技術分科会 21 回分科会報告を参照)。
- 次回以降、開催のお知らせは座長から分科会メンバーだけでなく運営幹事にも連絡する。

#### 2) 若手技術者交流会

- 第 2 回の開催は 1/26(火)に、INPEX 本社にて実施予定。参加者予定者は 35 名。

#### 3) 協会理事会

- 会員の異動、第 60, 61 回石油技術協会賞、協会誌印刷費削減案の承認、協会誌投稿原稿制限頁数の変更について報告。

### 議題 2:平成 28 年度春季講演会準備

#### 1) 趣意書案の承認

#### 2) 作井部門シンポジウム講演 実施方法の検討

- 事務局から、シンポジウムの進め方(2 つのケース)について説明。
- 現時点で幹事が考えているシンポジウム講演の題材
  - ◇ JAPEX:北米シェール開発でのコスト削減や作業効率化のための技術的取組  
オペレーション機会が減少している環境下での教育方法について
  - ◇ JDC:次世代リーダーの早期育成プログラムの紹介
  - ◇ INPEX:会社の将来ビジョンに基づく掘削技術者体制の在り方、スキルマップによる育成プラン 等
- その他意見
  - ◇ 理想のエンジニア育成に向けて産官学の役割分担について討論する。
  - ◇ 各社のキャリアパス、スキル/コンピテンシーマップ、実施している OJT 等の教育プログラムを紹介し、討論する。
  - ◇ 国際資源学部が出来た秋田大学に、どういう意識を持って学生を教育しているか話してもらおう。
  - ◇ 日本財団の海洋開発人財育成コンソーシアムの教育カリキュラム「未来の海パイオニ

ア育成プロジェクト」について、担当者に話をしてもらう。

- 今後、事務局が各社から提出された講演内容を基に具体的な構成を決める。

### 3) 個人講演の講演数 等

- 1/21 時点で申し込みなし。
- JAPEX から 3 件、INPEX から 2 件を申込み予定。  
2/5(金)が申し込みの締め切りなので、各社申込み願う。

### 議題 3:懸案事項

#### 1) 平成 27 年度第 2 回作井技術委員会(3 月末に開催予定)での特別講演

- 出光興産のウラン鉱山の紹介は、発表者が決算時期で業務多忙のため不可能。
- 運営幹事、委員から講演を募集する。

### 議題 4:その他

- 1) 旧作井技術委員会のホームページのリンクを削除。ただし、旧ホームページ内に掲載されていた情報については、有用と思われる情報を現在取りまとめ中(掘削ギネス記録、大水深掘削計画ガイドライン、大水深掘削技術分科会のプレゼン資料)。必要があれば、現在のホームページに情報を再掲示する。
- 2) 早稲田大学 古井准教授を作井技術委員の新メンバーとして迎える案について、全員賛成。  
→ 事務局で手続きを行う。
- 3) 査読費等、支払いに関するマイナンバーの取扱いに関して、現在 石油技術協会内にて検討中であることを紹介。
- 4) 作井技術委員会ホームページの掘削用語集に新たな言葉の追加を提案。
  - 追加予定の用語:かじる(がじる)

以上